

# 2026年3月期 3Q 決算説明資料

---

協立情報通信株式会社(証券コード:3670)

2026年2月13日

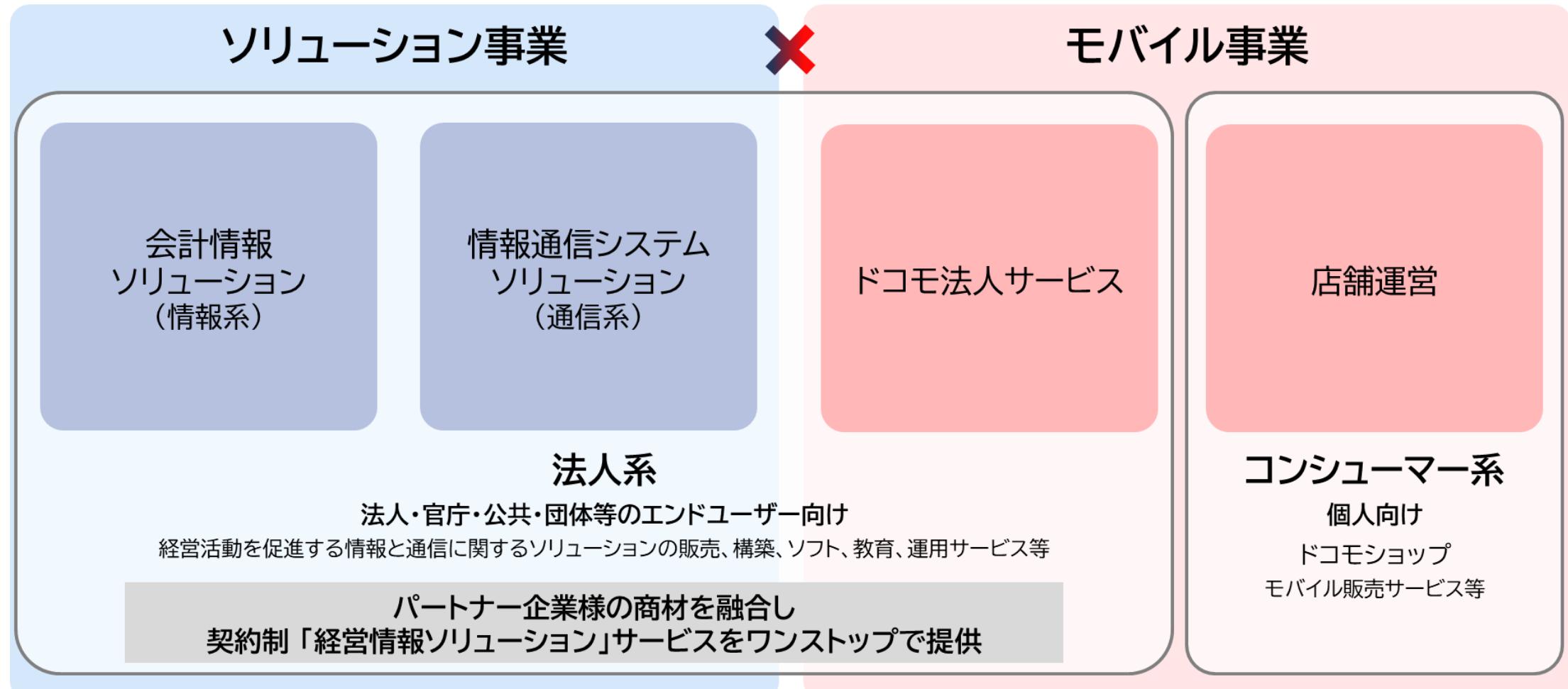
1. 会社概要
2. 2026年3月期 3Q 業績ハイライト
3. 各事業の状況
4. 2026年3月期 3Q TOPICS
5. ご参考資料
6. 免責注意事項

# 会社概要

---

# 協立情報通信とは

ソリューション事業として、民間企業、公共自治体に対して、経営情報と通信ネットワークインフラに関するソリューションの構築、活用教育、運用サービス等を提供。また、ドコモショップを代理運営し、個人並びに法人に対しモバイル販売サービスを提供。



# 基本情報

会社名	協立情報通信株式会社
本社	東京都港区浜松町1-9-10
従業員	211名（2025年12月末現在）（注）
創業	1964年6月（1965年6月設立）
証券コード	3670（東証スタンダード、名証メイン）
資本金	204,200,000円
事業所	<p>協立情報コミュニティー 東京都中央区八丁堀2-23-1 エンパイアビル2F</p> <p><b>新宿支店</b> 東京都新宿区西新宿1-3-13 Zenken Plaza II 10F</p> <p><b>横浜営業所</b> 神奈川県横浜市中区尾上町6-86-1 関内董友ビル7F</p> <p><b>ドコモショップ</b> 東京・埼玉で5店舗運営</p>



## パートナー企業



その他多数

## 所属団体

(一社)情報通信設備協会 通常会員

(一社)日本コンピュータシステム販売店協会 正会員

(一社)ソフトウェア協会 正会員

(一社)全国携帯電話販売代理店協会 準会員

(一社)日本テレワーク協会 賛助会員

東京商工会議所 会員

(注)従業員数=四半期末日の正社員+期間平均臨時雇用者(契約社員、嘱託、派遣社員等)

# 2026年3月期 3Q 業績ハイライト

---

# 業績ハイライト 概要 2026年3月期 3Q 累計

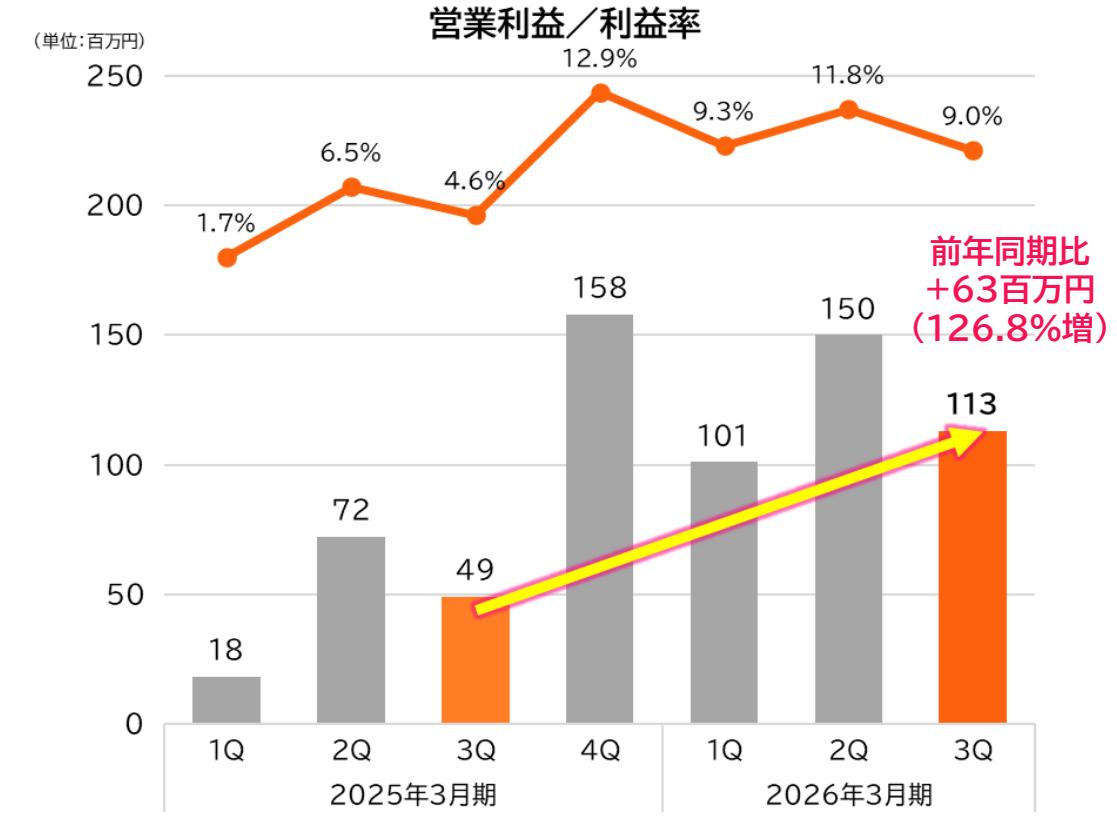
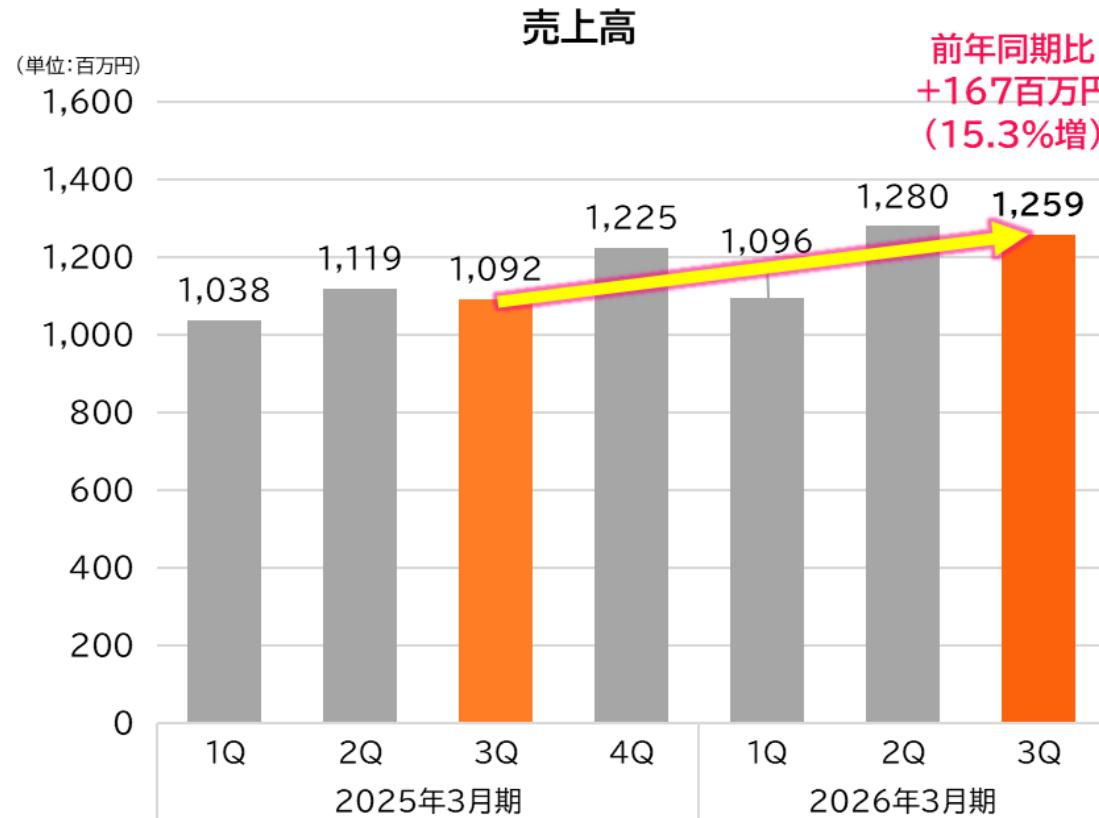
ソリューション事業・モバイル事業とも収益は堅調に推移し、利益面では過年度に比べても高水準で推移。  
各種サポート・サービスの終了など、外部環境の変化も追い風となる。

(単位:百万円)

	2025年3月期 第3四半期(累計)		2026年3月期 第3四半期(累計)				(参考) 2026年3月期通 期予想
	金額	売上高比	金額	売上高比	前年同期比	通期進捗率	
売上高	3,250	100.0%	3,636	100.0%	11.9%増	72.7%	5,000
営業利益	140	4.3%	365	10.0%	160.2%増	83.0%	440
経常利益	142	4.4%	369	10.2%	160.1%増	84.0%	440
四半期(当期)純利益	97	3.0%	253	7.0%	161.4%増	83.5%	304
1株あたり 四半期(当期)純利益 (円)	81.11	—	212.02	—	161.4%増	83.5%	253.88

# 業績ハイライト 概要 2026年3月期 3Q (10-12月) 四半期推移

ソリューション事業においては、業務システムのクラウド化の促進、モバイル事業との連携によるサービス拡大を推進。モバイル事業においては、インセンティブやストック収益の充実に注力する一方で、物販による収益が堅調に推移。



# 業績ハイライト 要約B/S<資産の部>

(単位：百万円)

		2025年3月末時点			2025年12月末時点		
		金額	構成比	金額	構成比	前年度末比	
流動資産	現金及び預金	1,333	41.7%	1,542	45.9%	209	
	受取手形、 売掛金及び契約資産	679	21.3%	594	17.7%	△85	
	棚卸資産	182	5.7%	251	7.5%	68	
	その他	119	3.7%	124	3.7%	5	
	貸倒引当金	△0	△0.0%	△0	△0.0%	0	
固定資産	有形固定資産	425	13.3%	405	12.1%	△19	
	無形固定資産	7	0.2%	5	0.2%	△1	
	投資その他の資産	451	14.1%	437	13.0%	△13	
資産合計		3,198	100.0%	3,360	100.0%	162	

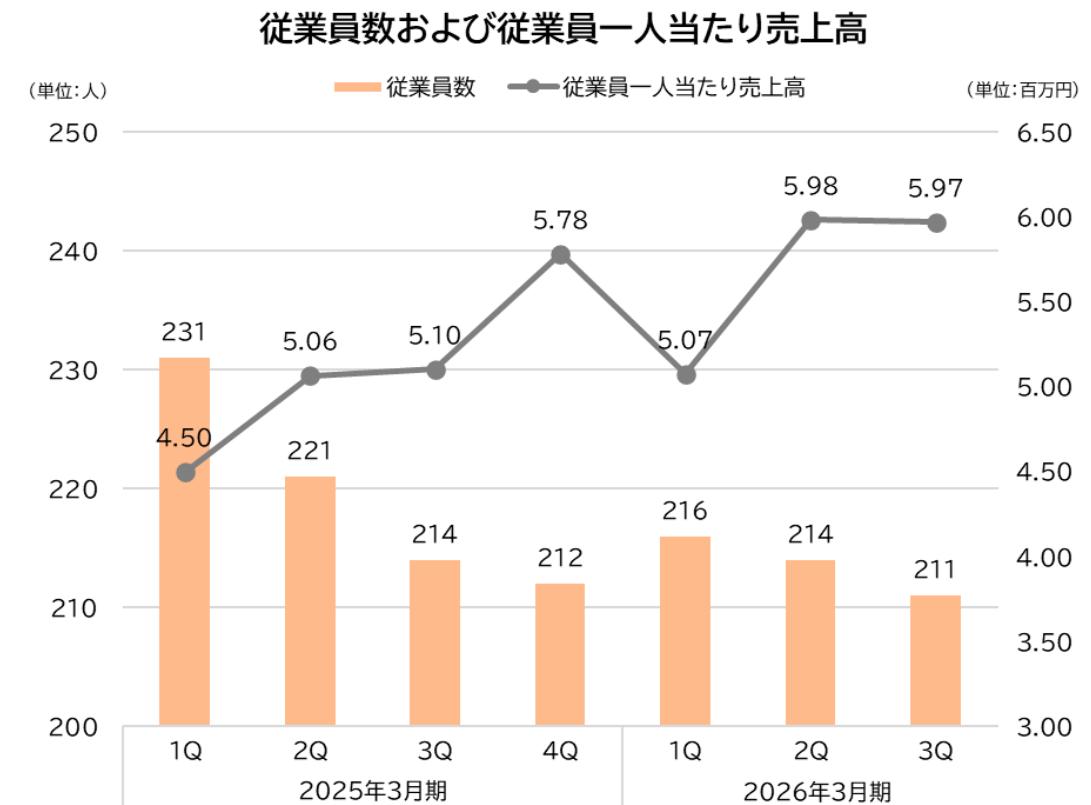
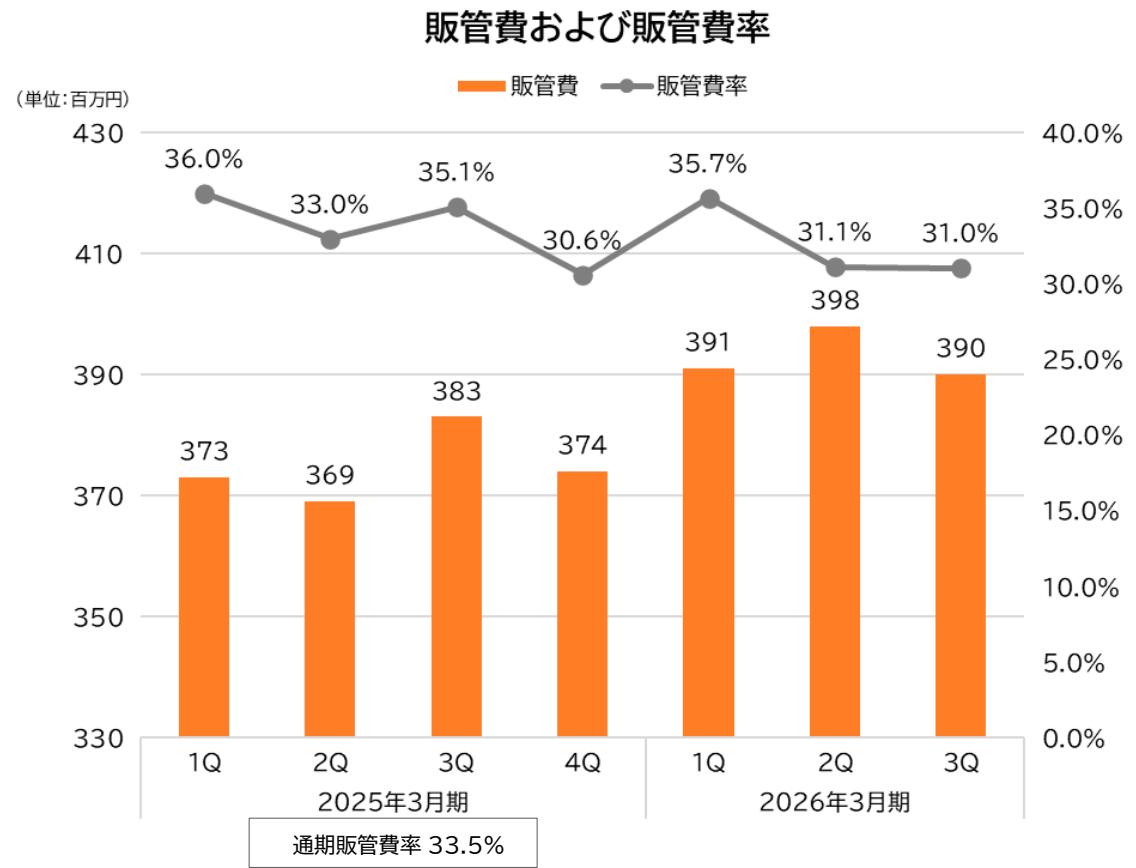
# 業績ハイライト 要約B/S<負債・純資産の部>

(単位：百万円)

		2025年3月末時点			2025年12月末時点		
		金額	構成比	金額	構成比	前年度末比	
流動負債	支払手形及び買掛金	366	11.5%	329	9.8%	△37	
	未払法人税等	54	1.7%	61	1.8%	7	
	賞与引当金	88	2.8%	56	1.7%	△32	
	その他	262	8.2%	298	8.9%	36	
固定負債	退職給付引当金	254	8.0%	255	7.6%	0	
	その他	52	1.6%	52	1.6%	0	
負債合計		1,078	33.7%	1,053	31.3%	△25	
純資産	資本金	204	6.4%	204	6.1%	0	
	資本剰余金	140	4.4%	140	4.2%	0	
	利益剰余金	1,778	55.6%	1,966	58.5%	188	
	自己株式	△5	△0.2%	△5	△0.2%	0	
	その他	2	0.1%	2	0.1%	0	
純資産合計		2,119	66.3%	2,307	68.7%	188	
負債純資産合計		3,198	100.0%	3,360	100.0%	162	

# 業績ハイライト 販管費・従業員数・従業員一人当たり売上高

販管費は派遣費用や販売促進費の増加に伴い高い水準で推移するものの、販管費率は適正に推移。  
一人当たり売上高は高水準を維持。



(注1)従業員数 = 四半期末日の正社員 + 期間平均臨時雇用者(契約社員、嘱託、派遣社員等)

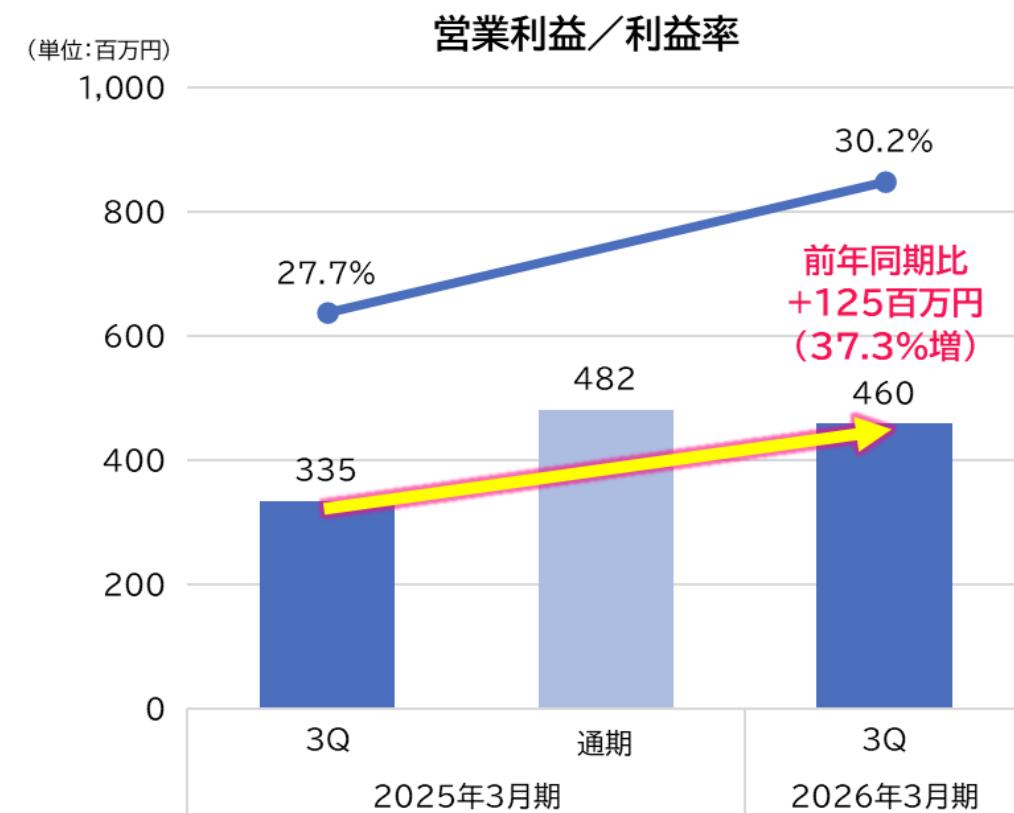
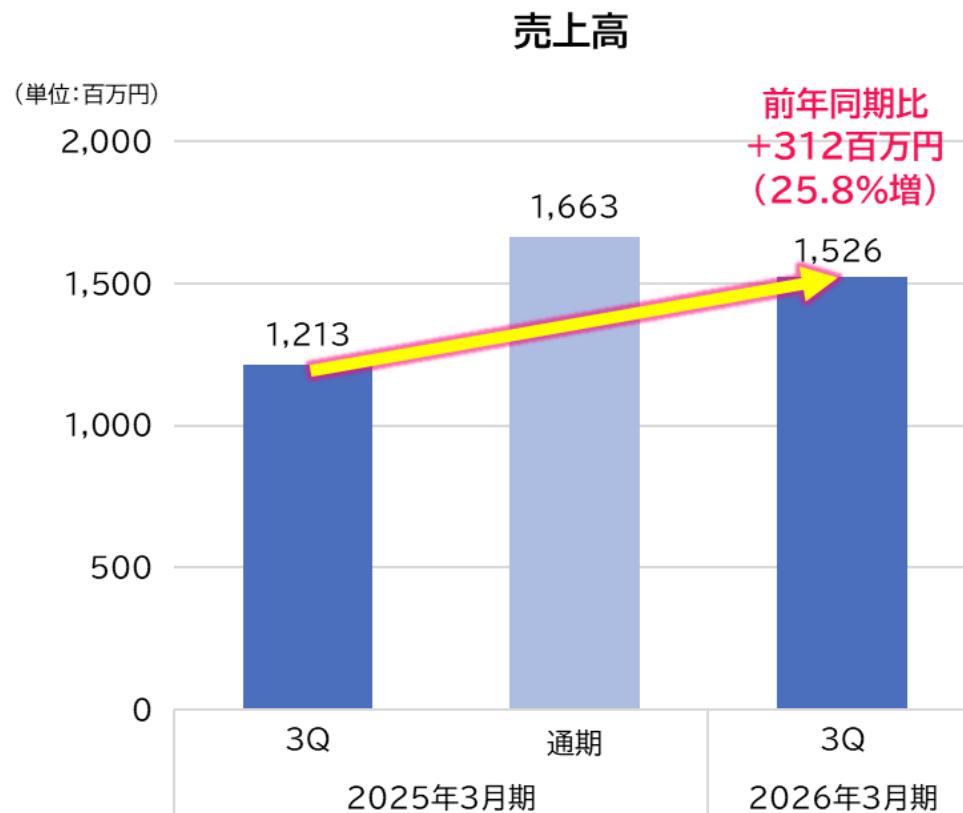
## 各事業の状況

### >>ソリューション事業

---

# ソリューション事業 前年同期比

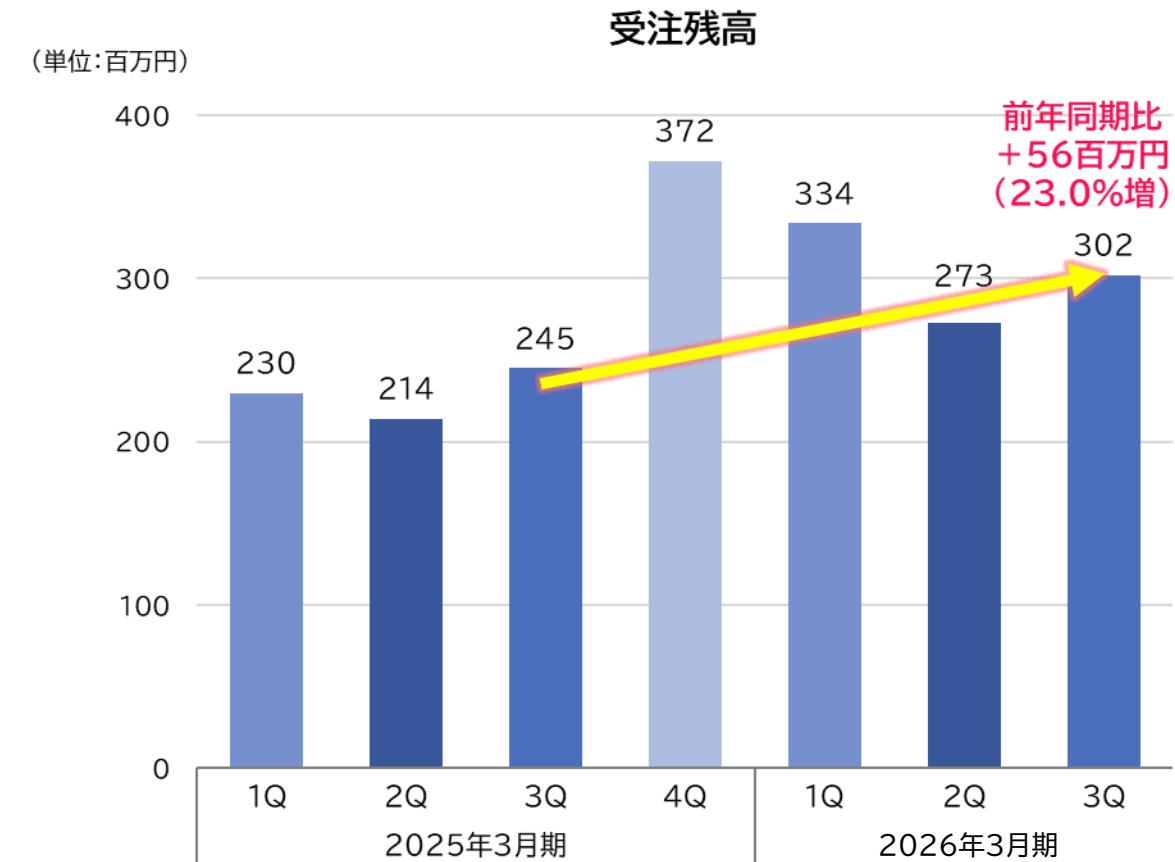
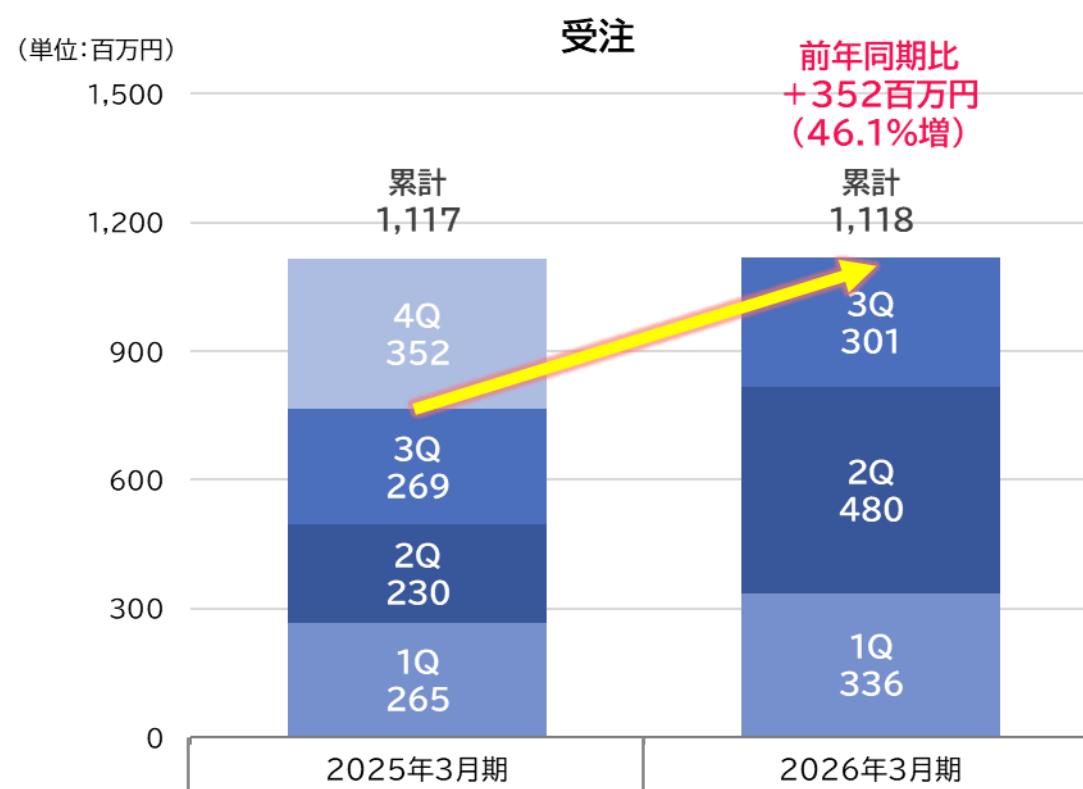
通信・ネットワーク・モバイルソリューションの融合によるオフィスコミュニケーション活性化支援を積極的に推進。  
Windows10や奉行クラウドのサポート終了等を要因とするPC・ソフトウェアの更新需要増加も売上高増強に寄与。



# ソリューション事業 受注高・受注残高 推移

営業活動は概ね好調であり、第3四半期末時点での受注高累計は前年通期超えとなる。

PBXリプレイスや奉行ソフトウェア更改・導入等の案件獲得による受注残の積み上げは堅調に推移。



## 各事業の状況

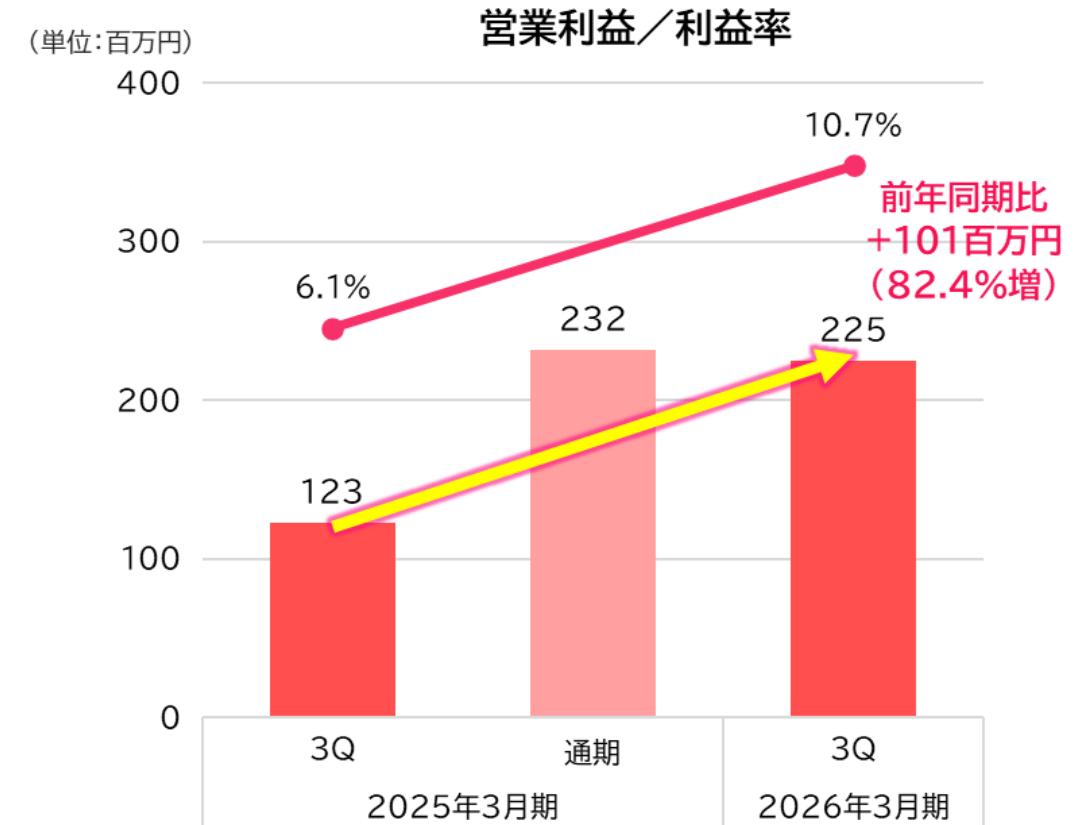
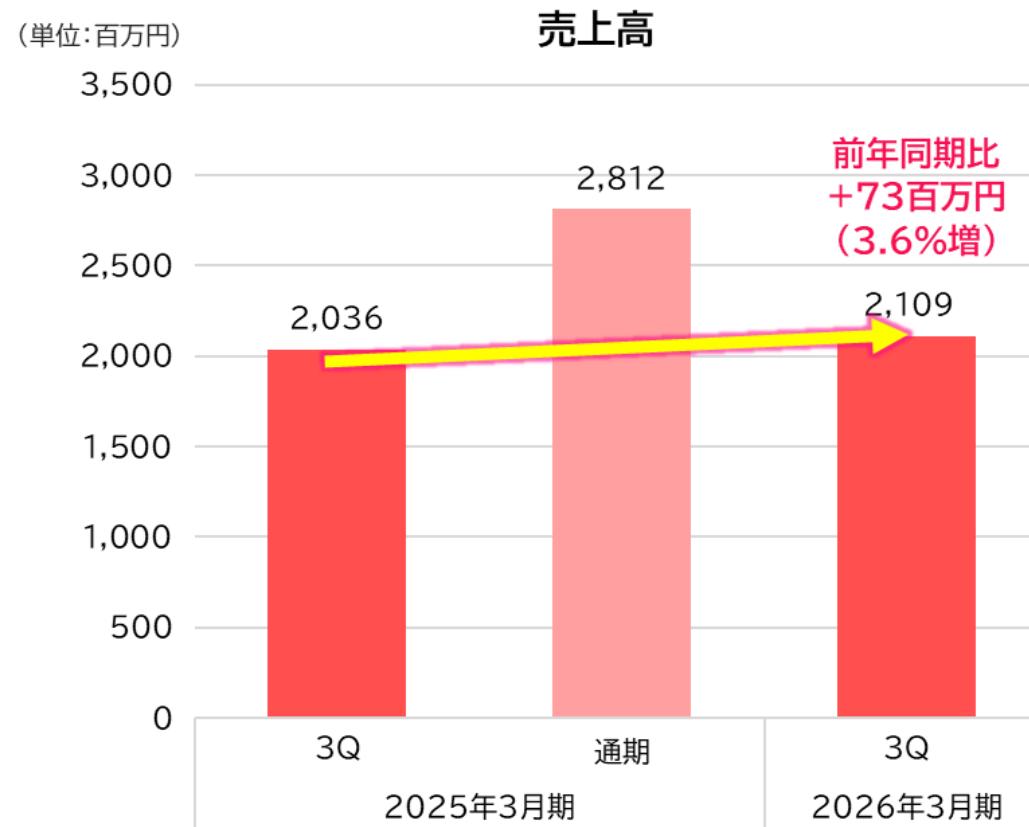
### >>モバイル事業

---

## モバイル事業 前年同期比

法人向け新規獲得に注力し、端末レンタル施策による売上高への影響をカバーする形で推移。

3月に控えたFOMAのサービス終了に伴う乗り換え需要の高まりも要因となり、店舗物販において販売数は増加。

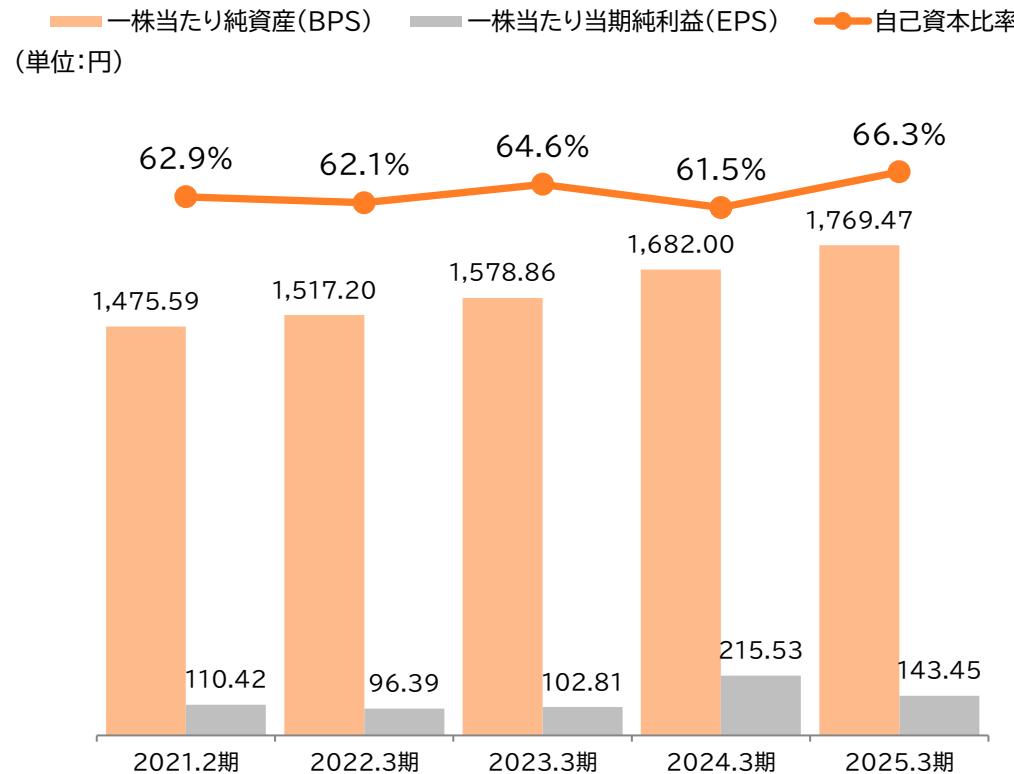


## ご参考資料

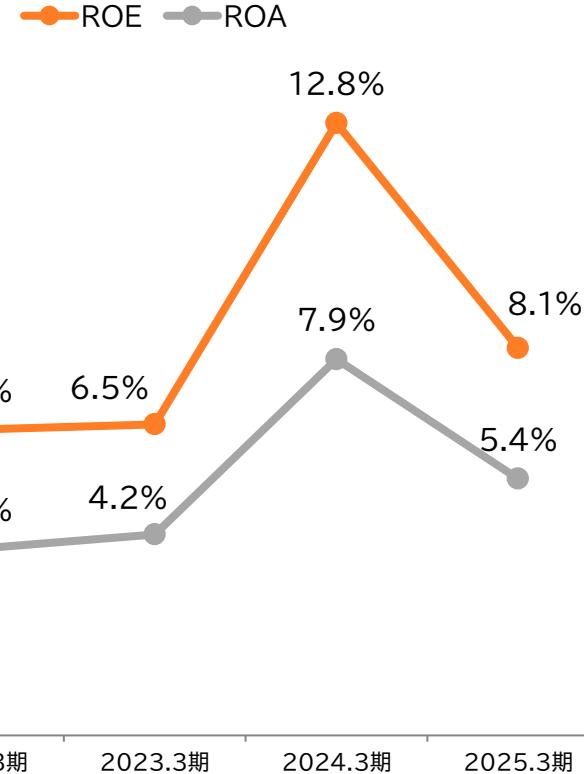
---

# 主な経営指標

## 安全性指標



## 効率性指標

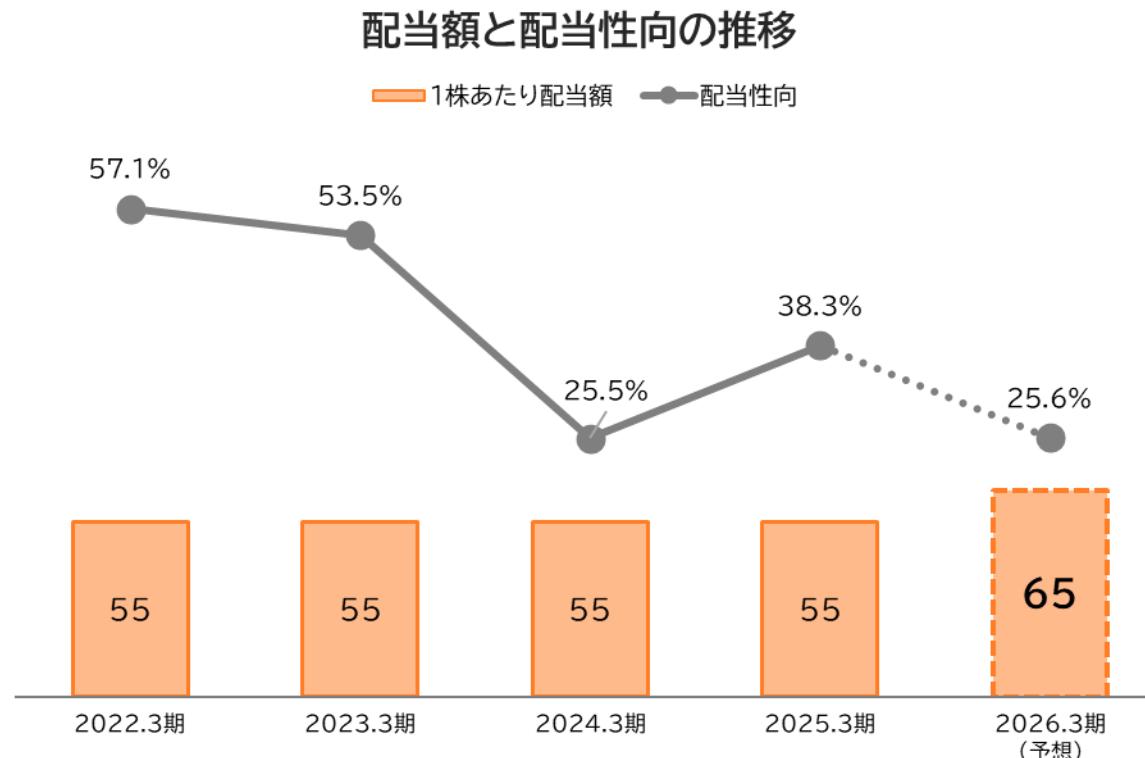


(注1)2022年3月期は、決算期変更により2021年3月1日から2022年3月31日までの13ヶ月となっております。  
 (注2)2024年3月期より個別決算に移行しているため、それ以前は当社連結の数値を使用しております。

# 株主還元(配当)

基本方針…株主への利益還元を経営の重要施策の一つと考え、継続的かつ安定的な配当を実施

配当水準…配当性向30～40%程度を目途に、業績連動による適正な配当とともに業績悪化時も一定水準を維持



(注1)2022年3月期は決算期変更により、2021年3月1日から2022年3月31までの13ヶ月となっております。

(注2)2024年3月期第2四半期より個別決算に移行しましたが、2023年3月期以前は当社連結の数値を使用しております。

最近の株価レンジと予想配当利回りのシミュレーション

株価(円)	配当利回り
1,800	3.61%
1,900	3.42%
2,000	3.25%
2,100	3.10%
2,200	2.95%
2,300	2.83%
2,400	2.71%
2,500	2.60%
2,600	2.50%
2,700	2.41%
2,800	2.32%
2,900	2.24%
3,000	2.17%

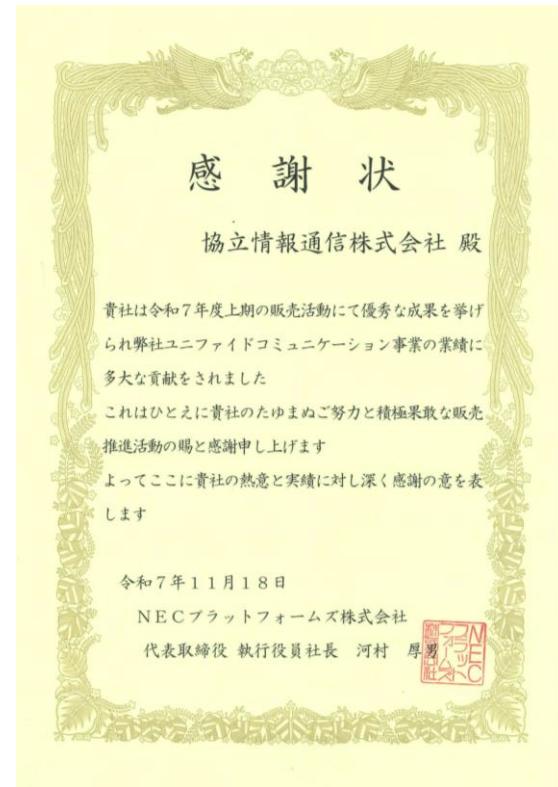
# 2026年3月期 3Q TOPICS

---

2025年11月19日(水)

# UNIVERGE Aspire シリーズ前年同期比達成率 第4位

令和7年度上期におけるUNIVERGE Aspireシリーズの販売活動において、特に優れた成果を挙げた企業として高い評価をいただき、NECプラットフォームズ株式会社様より「UNIVERGE Aspire シリーズ前年同期比達成率 第4位」の表彰を受け、また、感謝状をいただきました



今回の受賞は、当社の継続的な提案活動やお客様へのきめ細やかなサポート体制が評価されたものと受け止めております。今後もパートナー企業様との連携を深めるとともに、お客様により一層ご満足いただけるソリューションの提供に努めてまいります。

# AI×通信×セキュリティ最前線2025を開催

最新のデジタル技術やサービスを活用した、課題解決のヒントをお届けするべく、今話題のAIやクラウドサービスを利用した業務効率化やコスト削減、新たなビジネスモデルの創出に役立つソリューションなど、幅広くご紹介いたしました

会場

協立情報コミュニティ

主催

協立情報通信株式会社

協力

日本電気株式会社

NTTドコモビジネス株式会社／NTTドコモビジネスソリューションズ株式会社  
株式会社オービックビジネスコンサルタント／株式会社ソフトフロントジャパン丸紅情報システムズ株式会社／株式会社タカコム  
株式会社SUPERNOVA／株式会社シンカ

## 開催セミナー

【S-1】 13:30～ 14:15	<b>次世代コミュニケーション革命 ボイスボットの最前線</b> ~電話応対業務を本当にAIロボット化する「commubo」のご紹介～  (講師)株式会社ソフトフロントジャパン セールス＆マーケティング マネージャー 上杉 真吾 氏
【S-2】 14:30～ 15:15	<b>運用コストを下げるEDR—SentinelOneで実現する自律対応</b> ~自律型AIで検知・隔離・復旧迄を自動化。日々の運用負担を最小限に抑えるEDRご紹介～  (講師)丸紅情報システムズ株式会社 主任 永井 翔 氏
【S-3】 15:30～ 16:15	<b>大阪・関西万博におけるNECの取り組み</b> ~10月に閉幕を迎えた大阪・関西万博。 「未来社会の実験場」における顔認証技術を中心としたNECの取り組みをご紹介～  (講師)日本電気株式会社 大阪・関西万博推進室 高橋 篤史 氏
【S-4】 16:30～ 17:15	<b>知識も技術もいらない！中小企業に最適な生成AIサービスとは？</b>  (講師)株式会社SUPERNOVA 代表取締役副社長 吉村 祐伎 氏

## 展示ソリューション

The cards highlight the following solutions:

- NEC** NEC 顔認証エッジデバイス: NEAR認証ソリューション
- NEC** WebSAM Cloud-NetMeister Prime連携 NEC 統合型クラウド運用管理ソリューション
- TAKUMI** VR-RS100RDW II: リアルタイム音声認識&録音アプリ
- SentinelOne**: AI搭載サイバーセキュリティ Sentinel One
- docomo Business** オフィスリンク: スマホ内線化システム
- docomo Business** カイクラ: コミュニケーション統合
- docomo Business** Stella AI for Biz: ドコモの生成AIサービス
- Microsoft** Arcstar Smart PBX: クラウドPBX
- NEC** 奉行クラウド Edge: パックオフィス業務のDX化で経営力を強化
- Microsoft** Microsoft 365 Copilot: Microsoft 365 Copilot

▶ 展示コーナー



▶ 体験セミナー



▶ セミナー



## 免責注意事項

- 本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、今後、予告なしに変更される可能性があります。
- 過去の情報は実績であり、将来の成果を予想するものではありません。
- 本資料に記載されている会社名及び製品・サービス名等は、該当する各社の商標または登録商標です。

本資料に関するお問い合わせ先：総務課 IR担当  
電話 03-3433-0247 E-mail [ir@kccnet.co.jp](mailto:ir@kccnet.co.jp)

**KIC 協立情報通信株式会社**